

# 慈明院寺報 六月号

## 七福神

毎年六月に大黒様の里帰り法会を営んでいる。各家におまつりされている大黒様のご尊像を、護摩の炎で清めて供養する。たくさんの大黒様がお寺にお集まりになる。その中に布袋さんや夷さんなど、他の福の神がおられる事もある。福の神どなたも大歓迎です。(笑)



世に七福神と云われる神仏がある。大黒天・夷神・毘沙門天・弁財天・布袋和尚・福祿寿・寿老人、これらを縁起の良い福の神としてまとめて祭るのが七福神の信仰である。宝船や熊手に描かれた姿が馴染み深い。

この七福神、なぜ七人なんだろう？これは『仁王経』の「七難即滅七福即生」という教えに因んだとされ、寿命・有福・人望・清廉・愛敬・威光・大量の幸多き事を七つ意味するために、天海僧正が徳川家康を通じて狩野派の画家に七福神を描かせたのが、はじまりとも云われている。

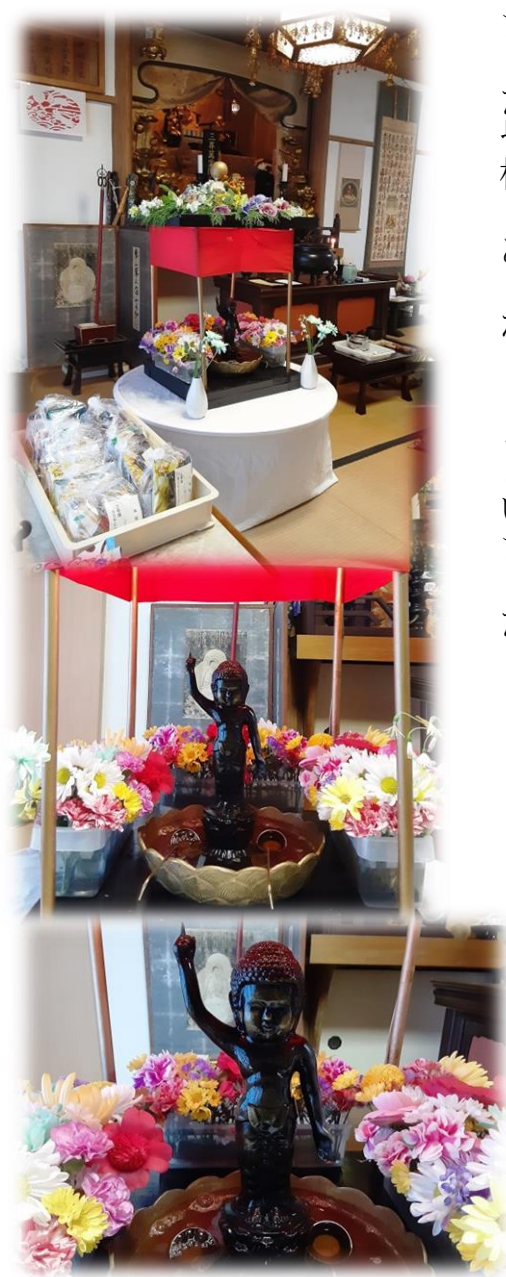
ところが江戸時代以前にも、七福神らしい絵画やそれにまつわる文献も存在しており未だに謎が多い。例えば福祿寿も寿老人も中国の道教の神様なのだが北極星と南極星の化身だとか、福星・祿星・寿星の星を司る化身であるとして諸説様々なのだ。しかも鶴、亀、鹿のいずれかをお供にしている。とにかく細かい事は気にせずに福々しいモノ、目出度いモノを一同に集めたのが七福神なのである。

慈明院の本堂内陣の壁面に九百体安置されている大黒様は、祖父・慈水が一体一体粘土で作った仏様である。今年もその大黒様に囲まれてお集まりの福の神をしつかり供養したいと思う。

住職 合掌

## 花まつりを開催

去る四月一日～八日、大師堂に花御堂を据え誕生仏（お釈迦様）を安置して、甘茶をそそいで供養する『花まつり』を開催しました。ご参拝頂きました皆様、ありがとうございました。



## 大黒天里帰り法会のご案内

来る令和五年 六月四日（日曜日）午前十一時より



＊おまつりされている大黒天のご尊像をご持参下さい。護摩供養の炎にてお浄め致します。昼食は、お接待お配り致します。参拝の難しい方は大黒様をお迎えに伺います。また郵送して頂いても結構です。どうぞ別紙参照の上ご参拝下さい。

じみよういん

慈明院（〒八一一一三三 福岡市早良区大字西二三四一・二〇）

TEL（〇九二）八〇四・四五七〇 FAX（〇九二）八〇四・四六〇五

よしずみだいじ

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇・（五二八一）・七四九四